SONY　テクニカルインフォメーション

件名： MPC-3610（VENICE） High Frame Rate他、機能追加対応のご案内

■発行元：ソニービジネスソリューション株式会社
■No.：2019-042
■2019年7月
■**種別**：その他

対象モデル

MPC-3610（VENICE）

概要

High Frame Rate機能など追加機能対応について、ご案内いたします。

主な内容

【機能追加】

1.High Frame Rate機能に対応しました。

別売のHigh Frame Rate License（CBKZ-3610H/HM/HW）をインストールすることで、以下のイメージャーモードのFPSが拡張追加されます。

6K 3:2：26 ～ 60FPS

4K 4:3：49 ～ 60、66、72、75FPS

4K 17:9： 66、72、75、88、90、96、100、110FPS

4K 2.39:1：120FPS

※X-OCN/RAW記録時は上記最大fpsで撮影が可能です（6K 3:2 X-OCN XTのみ最大30fpsまで）。XAVC 4KおよびProRes記録時は最大60fpsとなります。6K 3:2 59.97p/50pおよび4K 4:3 59.97p収録したクリップは本体内再生ができません。High Frame Rate撮影時、4Kスルーアウト出力の映像が乱れる場合があります（記録映像には影響ありません）。

2.リモートコントロールユニットからの制御機能に対応しました。

RM-B170やRCP-1501などのリモートコントロールユニットからの制御が可能となります。

Technical メニュー ＞ System Configuration＞ RM/RCP Paint Control がOff のとき：

記録再生制御、アイリス制御、ND 制御、FPS 設定、Color Bars On/Off が可能となります。

Technical メニュー ＞ System Configuration＞ RM/RCP Paint Control がOn のとき：

Off 時の制御に加えて、シャッター制御が可能となります。また、マスターゲインやWhite/Black のゲイン制御などのペイント機能が可能となります。

※制御できる機能はコントロールユニットに依存します

3.Rec. ITU-R BT.2020に対応しました。

RM/RCP Paint ControlをOnにしたときに、HDR国際標準規格Rec. ITU-R BT.2100のHLG方式と組み合わせたInput Color Space（Rec.2020/HLG_Rec.2100）を選択できます。

4. Monitor 出力 3Gに対応しました。

プロジェクトフレームレートが59.94fpsまたは50fpsのMonitor出力において、Pure-P出力が可能となります。

5.メタデータの項目を追加しました。

RAW、X-OCN、XAVCに以下のメタデータを追加しました。

Cooke’s /i third generation metadata Technology, /i3とZEISS eXtended Datatechnologyに対応し、レンズ歪やシェーディングメタデータを記録します。

6.DVF-EL200装着時のアサイナブル機能を追加しました。

DVF-EL200のアサイナブルボタンA/B/Cに、本体設定変更機能の一部を割り当て可能にしました。

ビューファインダーの表示に関係する機能やRECコマンドなどを割り当てることが可能となります。

7. PLレンズインターフェースの有効コネクターを指定できる機能を追加しました。

4pin hot shoeコネクターのTop/Sideの選択を追加しました。レンズ装着時に、非使用コネクターからの瞬時電力放電を抑えることができます。

※AXSメモリーに収録されたクリップ（29.97pおよび59.94p）の再生時、稀にオーディオノイズが発生することがあります（収録されたオーディオには全く問題ありません）。本現象が発生した場合、電源のON / OFFにより解決できます。 本現象につきましては後日のバージョンアップにて改善予定です。

対応方法

ソフトウエアV4.0へのバージョンアップ作業、ならびに、ハードウエアDCP-120基板交換作業となります。

本作業は、お引き取りにて実施させていただきます。AXS-R7と接続してご使用されている場合は、AXS-R7のバージョンアップも必須となりますのであわせてバージョンアップ作業を実施させていただきます。

ご希望の際には、弊社サービス担当者へご相談ください。

料金案内

本バージョンアップ作業は、無償にて実施いたします。

尚、弊社までの機材輸送費用は、お客様負担とさせていただきます。

ハイフレームレート撮影機能を使用するには本バージョンアップに加えて別売のHigh Frame Rate Licenseが必要となります。必要に応じて担当営業へご相談ください。

この情報は、2019年7月現在のものであり変更されることがあります。

なお、本件に対するお問い合わせは、担当サービスまたは担当営業へお願いいたします。